



## U.S. コットン・トラスト・プロコル 参加農家・作付面積が6年連続で増加

**2025年の登録作付面積は258万エーカーに達し、2024年から18%の増加  
登録生産者数は1,512軒となり、2024年から14%の増加**

U.S.コットン・トラスト・プロコルは、このほど作付面積および参加農家数が6年連続で増加したことを発表した。現在、登録作付面積は258万エーカーとなり、前年から18%の増加、また参加農家数は1,512軒で、2024年比14%の増加となった。この成長は、変動する生産コスト、気候変動、市場の変化といった厳しい環境下において、このプログラムが米国コットン農家にとってますます重要な存在となっていることを示している。

トラスト・プロコルに参加することにより、生産者は、自身の環境フットプリントを把握し、農業慣行を最適化し、全体的な効率を向上させるための実用的なデータ主導の知見を得ることができる。これにより、測定と検証を通じて、責任ある取り組みへの姿勢を示すことが可能となる。

トラスト・プロコルは、アメリカ綿およびプロコル・コットンが最終製品に至るまで追跡可能な、透明性と検証性を備えたシステムを提供しており、ブランドおよび小売業者が調達目標や報告要件を達成するための信頼性ある手段となっている。現在、世界中で2,500を超える紡績業者およびメーカーがメンバーとして参加しており、ラルフローレン、ギャップ、リーバイス、カーハート、J.クルー、アーバンアウトフィッターズなど、45以上の世界的ブランドが当プログラムに加わっている。

### U.S.コットン・トラスト・プロコル)について

U.S. Cotton Trust Protocol は、米国の綿花生産者を対象とした自主的なサステナビリティ・プログラムであり、すべての米綿に対するトレーサビリティ・プラットフォームで

ある。本プログラムは、責任ある綿花生産に対して定量的かつ検証可能な目標と測定手法を導入し、以下の6つの主要なサステナビリティ分野における継続的な改善を促進している: 土地利用、土壌の健全性、水資源管理、温室効果ガス排出、エネルギー使用、繊維の品質。

トラスト・プロトコルは、高度なデータ収集と第三者機関による独立した検証を通じて、米国産綿花のサステナビリティにおける進展を支え、保証する仕組みとなっている。

本件について・写真素材等のお問合せは  
一般財団法人日本綿業振興会 担当: 福舩まで  
〒541-0051 大阪府中央区備後町2-5-8 綿業会館 6階  
電話: 06(6231)2665 Mail: hfukumasu@cotton.or.jp